



三鈷松だより

令和2年度 第5号
令和2年7月31日発行
児童数 126名

日々の学びや生活を大切に

校長 中沢朋宏

6月に学校が再開し2か月がたちました。本来ですと、夏季休業日を迎え、暑さの中、御家庭で過ごす日々となっているはずでした。しかし、今年は、かなり状況が異なります。8月1週目まで1学期が続き、8月3週目後半からは、2学期がスタートします。

先日新聞のコラム欄を読んでいたところ、ハッとさせられる内容が書かれていました。その内容は、漫画「ちびまる子ちゃん」(本校では体育の準備運動で「ちびまる子ちゃん」の主題歌に合わせた体操を行っています)の第1回の内容「明日から夏休み」という場面から始まり、そして、短い夏休みについての考え方が書かれていました。

このコラム記事に書かれていたように、私自身の夏休みのスタートという、1学期の様々な荷物を苦勞して学校から持ち帰ることや、長い休みが永遠に続くのではないかと思うこともたびたびありました。しかし今回の夏休みは、12日間。おまけに、コロナの影響で遊びや旅行なども普段通りにはいきません。だからこそ、見方を変えて、この夏を普段では経験できない、学校で友達と過ごすかけがえのない夏にしてほしいなあと感じました。

さて、この1学期のさかえっ子は、多くのことにチャレンジをしながら日々取り組んできました。まずは、新しい生活様式です。

- ① マスクをつけ、窓を開けます。
- ② 密を避け、人がたくさん集まる場所には行きません。
- ③ 無理をせず、体調が悪いときは休みます。
- ④ 免疫力を高めるため、規則正しい生活をします。
- ⑤ もう一度「手洗い」「うがい」は繰り返します。



この合い言葉のように早く新しい生活習慣に慣れるように毎日がんばっています。次に学習面です。

今まで学んだことを復習しながら、くり返し練習しています。特に御家庭の協力を得て進めている、家庭学習や自主学習には、ほぼ全員が取り組み、自主学習もノートを1冊終えた児童が多く見られました。

最後はさかえっ子のがんばりとやる気です。

やる気を持続させるために、がんばりを認めるために三鈷賞を発行しています。7月27日現在で127枚の三鈷賞を児童に渡しました。このほかにもクラスで取り組んでいる衛生検査の7項目(ハンカチ、ティッシュ、爪切り、朝食、歯磨き、手洗い・うがい、朝の洗顔)達成、朝マラソンでのがんばり、図書室の利用や読書のがんばりなど多岐にわたりました。このほかにも、限られた生活の中でさかえっ子が、がんばったことはまだまだあります。8月7日の終業式にはそのがんばりの一部をさらに紹介する予定です。

限られた夏休みとなりますが、児童が家庭や地域に戻ります。1学期にがんばったことでつけた自信ややる気を見届けてくださいますようよろしくお願いいたします。普段とは違う夏(8月)だからこそ、目の前のことをコツコツやっていくことや日々の生活を大切にすることで、きっと自分らしく生き生きと過ごすことができるのではないかと思います。そして、8月20日、一回り成長した姿で、学校生活をまた元気に迎えてほしいと思います。

第2回幸手市統一基礎学力コンテストの実施

今年度はコロナ禍のため、埼玉県学力・学習状況調査が実施できませんでしたが、これまで取り組んだ成果を発揮する機会の確保を目的として、市統一問題による学力コンテストが実施されることになりました。

本校では、8月26日(水)に行います。対象は、2~6年生となりますので、ご承知おきください。

心安らぐひとときの創造と発見

コロナ禍の状況下だからこそ、癒しの空間を創造したり、今まで気づかなかった身近な楽しさや喜びを感じたりすることが大切です。このことを踏まえ、職員一同、楽しい授業づくり、美しい学校環境づくりに努めて参ります。



夏休みを安全に過ごすために【情報提供】

1 海・山での事故防止について

特に海浜事故について、今夏は、茨城県・千葉県・神奈川県の一部の海水浴場が開設しません。(不開設海水浴場での事故が既に発生しています)

2 小学生向け着衣動画配信について

本年度は、水泳学習の未実施により、着衣泳も行っておりません。

この度、日本赤十字埼玉支部作成の『着衣泳』指導のための動画が配信されましたのでお知らせします。



コバトン

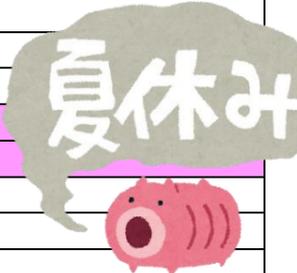


3 ネットトラブル防止

裏面をお読みください。

8月の行事予定

日	曜	行事など
1	土	*...職員が不在となる日
2	日	*
3	月	特別日課4時間
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	第1学期終業式 一斉下校
8	土	*夏季休業日(~8月19日)
9	日	*
10	月	*山の日
11	火	*職員振替休【7/4(土)分】
12	水	*学校閉庁日
13	木	*学校閉庁日
14	金	*学校閉庁日
15	土	*
16	日	*
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	第2学期始業式 一斉下校
21	金	特別日課4時間
22	土	*
23	日	*
24	月	給食開始
25	火	スクールカウンセラー来校(午後)
26	水	通常日課6時間 幸手市統一基礎学力コンテスト 【2~6年生】
27	木	
28	金	
29	土	*
30	日	*
31	月	



【9月の主な行事予定】

- 1日(火)~30日(水) 教育実習【2名】
- 2日(水) 避難訓練 委員会活動③
- 3日(木) 内科検診【4~6年】
- 4日(金) 発育測定【全学年】
- 8日(火) 給食費等集金日 PTA運営委員会
- 9日(水) 内科検診【1~3年、さくら・なのはな】
- 10日(木) 歯科健診
- 26日(土) 秋季大運動会
- 28日(月) 振替休業日

*上記予定は、7月31日現在のものであり、今後の状況により変更となる場合があります。その際は、メール、ホームページ等で連絡をします。

SNS等でのコミュニケーションと 対面のコミュニケーションの違いについて 埼玉県教育委員会

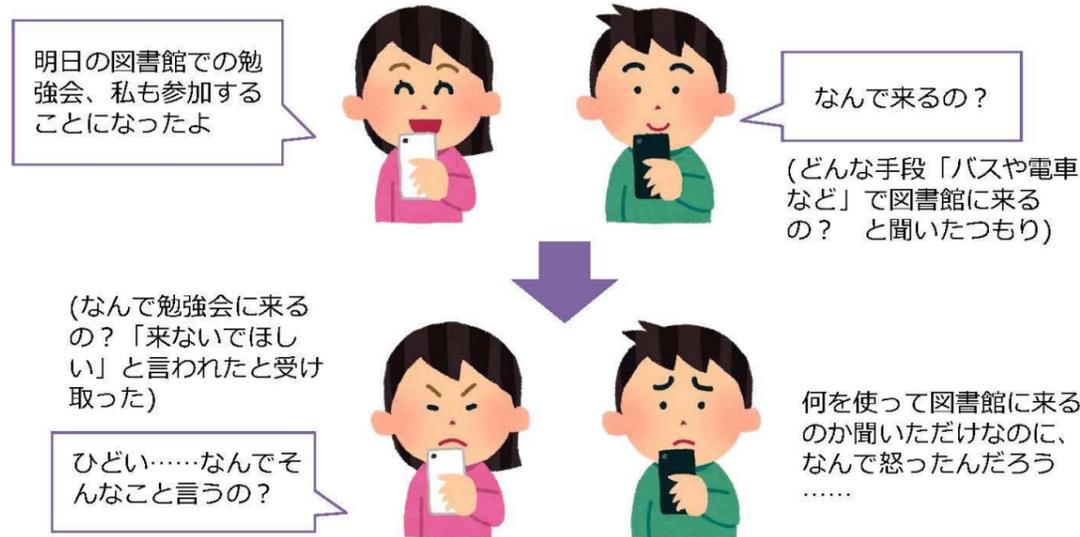
スマートフォンなどのインターネット機器の普及や、コミュニケーションサービスの発展とともに、SNS等を使って他者とコミュニケーションをとる機会が増えてきました。
しかし、SNS等でのコミュニケーションには、トラブルが起こりやすいという問題点もあります。トラブルになる危険性を減らすためには、SNS等でのコミュニケーションと対面のコミュニケーションの違いを理解しておく必要があります。

SNS等と対面ではこんな違いが

SNS等でのコミュニケーションと対面のコミュニケーションには、どのような違いがあるのでしょうか。

大きく違う点は、言葉以外の情報があるかどうかです。対面での会話には言葉以外にも、相手の表情や仕草、声の調子などの情報があります。私たちは相手の言葉だけでなく、こうした情報もふまえて、相手の気持ちを読み取っています。

しかしSNS等でのコミュニケーションでは、文字だけで相手の気持ちを読み取らなくてはならず、表情などの情報はありません。**そのためお互いの意図が伝わりづらく、誤解が生じてしまうことがある**のです。



SNS等でのコミュニケーションが対面のコミュニケーションよりもすぐれている点もあります。それは、**正確な情報伝達が可能**だということです。

例えば連絡事項などを伝える際、対面の会話であれば聞き間違いなどによってうまく伝わらないことがあります。SNS等を使えば、そうした問題は起こりにくくなります。正確に情報を伝えることができますし、もし一度決まったことを忘れてしまったとしても、やりとりを見返して確認することができます。

SNS等でのコミュニケーションと対面のコミュニケーションの違いを頭に入れ、その時々目的や状況に応じてコミュニケーションの手段を使い分けましょう。

ネットいじめについて

SNSや無料通話アプリなどが普及するにつれて、ネットいじめ等インターネット上のトラブルも起きています。

いじめは決して許されるものではありません。今回はネットいじめについて学び、決して加害者にならないように自身のSNS等の使い方を見直しましょう。

ネットいじめの例

ネットいじめとは具体的にどのようなものなのでしょうか。例としては以下のようなものがあげられます。

- ・特定の人物の悪口を書き込む
- ・特定の人物の個人情報や、その人物が嫌がる動画・画像を掲載する
- ・SNSで特定の人物になりすましたアカウントを作成し、不適切な書き込みをする
- ・無料通話アプリで特定の人物をグループからはずす
- ・無料通話アプリのグループトークで、特定の人物が発言したときだけ、みんなが無視する



インターネット上のやりとりでは、相手の反応が見えません。そのため、**冗談のつもりでからかうようなメッセージを送っていたところ、相手はそれをいじめと受け取っていたというケース**もあります。



ネットいじめの特徴

ネットいじめには次のような特徴があります。

- ①被害者に大きなダメージを与える
ネットいじめは、インターネット上に文字や動画等が残ったり、場所や時間に関係なく行われたりするため、被害者の心などに大きなダメージを与え、精神的に追い込んでしまうこともあります。
- ②外からいじめが発見しづらい
無料通話アプリのやりとりは友だち同士しか見ることはできず、SNSも自分の投稿を友だち以外に見せないように設定することができるため、外部からいじめを見つけることがとても難しいのです。
- ③エスカレートしやすい
相手の反応が見えにくいいため、面白半分でいじめに加わってしまうこともあり、知らず知らずのうちにエスカレートしてしまうことがあります。

ネットいじめは、被害を受けた人に大きな精神的ダメージを与えるものであり、絶対にやってはいけません。もし、自分がネットいじめの被害を受けた場合や、いじめかなと思うような書き込みをインターネット上で見かけたときは、すぐに周りの大人に相談しましょう。

また、誰しもが被害者にも加害者にもなりうることを頭に入れて、インターネットを使って友だちとやりとりするときは、相手がどう感じるかを考えてメッセージを送るように心がけることが大切です。